

一年のはじまりに幸運を祈る女たち。右幅では、縁起のよい初夢を願って宝船の絵を枕に括る。左幅は、顔を清める準備。どちらも江戸時代、庶民が新年に行ったという願掛けである。「新年風俗図」は、女たちの私的な時間を密やかに切り取った葛飾北斎五十歳ころの作品。直角に曲がった首など不自然で稚拙な描写もあるが、幸せを願う彼女たちの表情は、同時代の他の絵師のものとは異なり、人間らしい切なる願いがあふれる。北斎の美人画の一翼を担う作品だ。

佳き年への願い溢れる、北斎の美人画。

作品を収集したフリーア氏は、北斎の肉筆画を見て日本女性に憧れを抱いたともいわれます。美しくリアリティ溢れる女性の表情。高精細複製品なら細部の繊細な描写まで間近で見ることができます。世界を魅了した北斎の美人たちを多くの方にご覧いただきたいと思えます。

日本の美を、人へ、

未来へ、伝えていく。

北斎、日本に帰る

『新年風俗図』 葛飾北斎筆

Vol. 04

綴プロジェクト作品
(高精細複製品)

綴TSUZURI
文化財未来継承プロジェクト



公開情報
二〇二〇年一月二日(木)から、綴プロジェクト作品「新年風俗図」をすみだ北斎美術館にて公開します。(終了日未定)詳細は美術館公式サイトにて。



詳細は、公式サイト
でご覧いただけます。
global.canon/ja/tsuzuri

「綴プロジェクト」は、貴重な日本の文化財を高精細複製品として制作し、オリジナルの保存と複製品の公開を目的とする社会貢献活動です。今回、フリーア美術館所蔵で門外不出の葛飾北斎の肉筆画13点の複製品を制作、里帰りした作品は墨田区のすみだ北斎美術館に収蔵されます。日本では観られない貴重な作品を身近に鑑賞する機会を提供していきます。

Canon